

韓国・建陽大学

[2024年8月～11月分]

経営学部4年 海藤智歩菜

私は、韓国の郊外にある忠清南道論山市の建陽大学に5ヶ月間交換留学をしている大学4年生海藤智歩菜と申します。



留学に行くという大きな決断をして、いざ韓国に出発した2024年8月24日からあつという間に4ヶ月以上の時間が過ぎました。今思い返してもこの留学生活が「人生で一番の思い出」になっていると日々感じます。

まず、この留学生活ではたくさんの人から助けていただき留学生活を送ってきました。私が留学している建陽大学の語学堂では8割から9割がベトナム人で、日本人は私含め2人しかいません。そのため最初は友達を作れるのか不安が大きかったです。



そんな中、私を心配したインド人の友達がカカオトークでメッセージを送ってくれたり、韓国人の友達がソウルから来てくれたり、大学の近くに住んでいる韓国人の友達のお父さんとお母さんが美味しい韓国料理屋さんへ何度も連れて行ってくれたり…と、この他にも多くの方から助けていただき人間の温かさを肌で感じました。

勉強面に関しては、最初のレベルテストの結果私は初級2だったのですが、初日の授業に参加してみると先生からもっと上のクラスで勉強するのがいいのではないかと提案され、最終的に中級1からのスタートとなりました。

初級の教材とは違い内容が難しくなっていることもあり、最初は授業についていけないのか不安が大きかったです。

しかし、ここで諦めたくないという気持ちから、わからない単語を誰よりも多くの時間を費やし勉強しました。その結果、最初の試験から今まで平均点90点以上を常にキープすることができています。

そして、現地で学び現地で韓国語を話すことの重要性も肌で感じています。語学を早く習得するためには、勉強を一生懸命することもとても重要ですが、友達と韓国語で会話することが一番重要だと私は考えます。



建陽大学はたくさんのイベントがあり、授業だけではなく楽しい学校生活を送ることができます。

まず、建陽大学生が全員参加する体育大会です。この体育大会は大学生の方も参加するため、「THE 韓国」を体験することができます。とてもウキウキしたのを覚えています。



他にも語学堂の学生だけで行われた体育大会やバスに乗って文化体験をしに行ったりもしました。

残念ながら私は5ヶ月間だけなので、学校祭には参加できなかったのですが、一年を通してみると本当に多くのイベントを開催してくれて楽しい生活を送ることができると思います。

最後に、自分が想像していた5ヶ月後の姿より不足している部分が多く、「あと半年間長く韓国にいたことができたらもっと韓国語力が伸びたのに・・・」と後悔することも何度もありました。

これを読まれている皆さんはきっと今留学に行こうか悩んでいる方が多いと思います。留学に行く経済的な不安から諦めてしまう方も多いため「絶対に行ったほうがいい」とは強いうことはできませんが、機会があるのであればそれが未来の自分の助けになるのであればまず行動することが重要であると私は考えます。

そして、悩んでいては私のように卒業関連で半年間しか留学に行くことができなく後悔することもあるでしょう。少しでも気になることがあるのであれば、国際課の先生に話を聞きに行ってみてください。皆さんの努力が報われることを祈っています！

